

第72回

法人企業景気予測調査結果

四国地方の概要

令和4年1月から3月期調査



財務省四国財務局

調	査	要	領	1					
1.	企	業	の	景	況	判	断	2	
2.	従	業	員	数	判	断	4		
3.	売	上	高	・	経	常	利	益	6
4.	設	備	投	資	8				
資	料	編	9						

調査要領

1. 調査の目的と根拠

我が国経済活動の主要部分を占める企業活動を把握することにより、経済の現状及び今後の見通しに関する基礎資料を得ることを目的に、統計法に基づく一般統計調査として平成16年4～6月期から内閣府と財務省が共管で調査を実施。

2. 調査対象企業の範囲

資本金、出資金又は基金（以下、「資本金」という。）1千万円以上の法人企業。
ただし、「電気・ガス・水道業」及び「金融業、保険業」は資本金1億円以上を対象。

3. 調査対象企業の選定方法及び調査票の回収状況

法人企業統計（統計法に基づく基幹統計）の法人名簿などを基に選定。

調査対象企業数及び回収状況

業種別 規模別	製造業			非製造業			全産業		
	調査 企業数 (社)	回答 企業数 (社)	回収 率 (%)	調査 企業数 (社)	回答 企業数 (社)	回収 率 (%)	調査 企業数 (社)	回答 企業数 (社)	回収 率 (%)
大企業	31	30	96.8	46	44	95.7	77	74	96.1
中堅企業	44	43	97.7	65	58	89.2	109	101	92.7
中小企業	83	75	90.4	163	143	87.7	246	218	88.6
全規模	158	148	93.7	274	245	89.4	432	393	91.0

(注)本調査において大企業とは資本金10億円以上の企業を、中堅企業とは資本金1億円以上10億円未満の企業を、中小企業とは資本金1千万円以上1億円未満の企業をいう。

4. 調査時点

令和4年2月15日

5. 調査対象期間

- (1) 判断項目：現状（令和4年1～3月期及び3月末）
見通し（令和4年4～6月期及び6月末、令和4年7～9月期及び9月末）
- (2) 計数項目：令和3年度及び令和4年度

6. 調査方法

調査票による郵送またはオンライン調査（自計記入による）

BSI (Business Survey Index) の計算方法

(例) 「企業の景況判断」の場合

前期と比べて「上昇」と回答した企業の構成比・・・30.0%

「不変」と回答した企業の構成比・・・25.0%

「下降」と回答した企業の構成比・・・40.0%

「不明」と回答した企業の構成比・・・5.0%

$$\text{BSI} = (\text{「上昇」と回答した企業の構成比:30.0\%}) - (\text{「下降」と回答した企業の構成比:40.0\%}) = 10.0\% \text{ポイントの「下降」超}$$

1. 企業の景況判断 — 現状1～3月期は「下降」超、先行き4～6月期は「上昇」超に転じ、7～9月期は「上昇」超幅が縮小する見通し —

現状1～3月期は、全産業で▲22.4%ポイントと「下降」超に転じている。

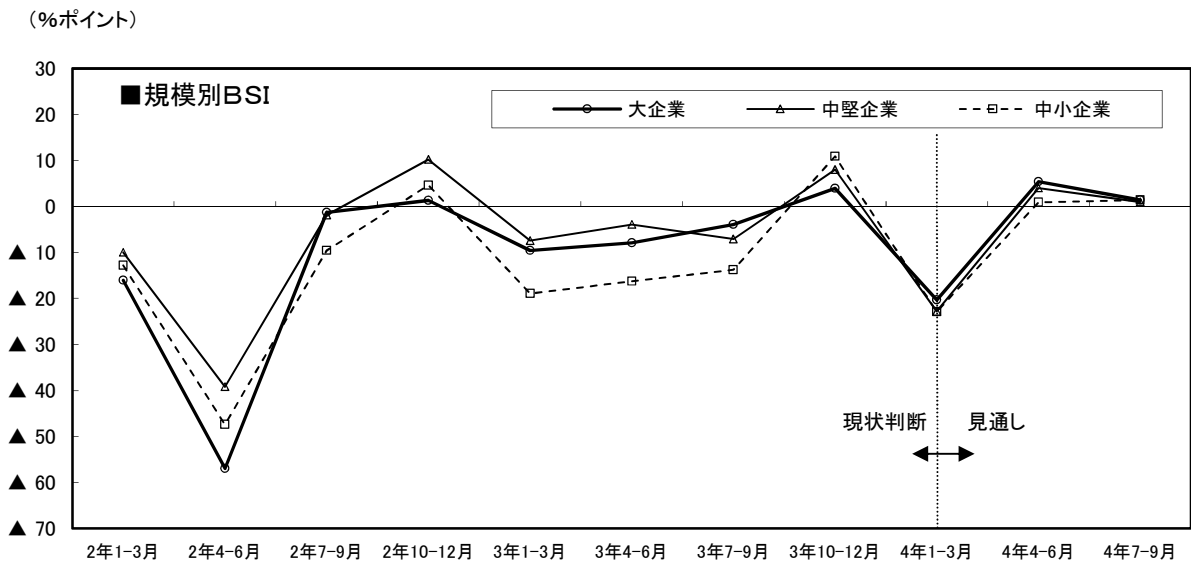
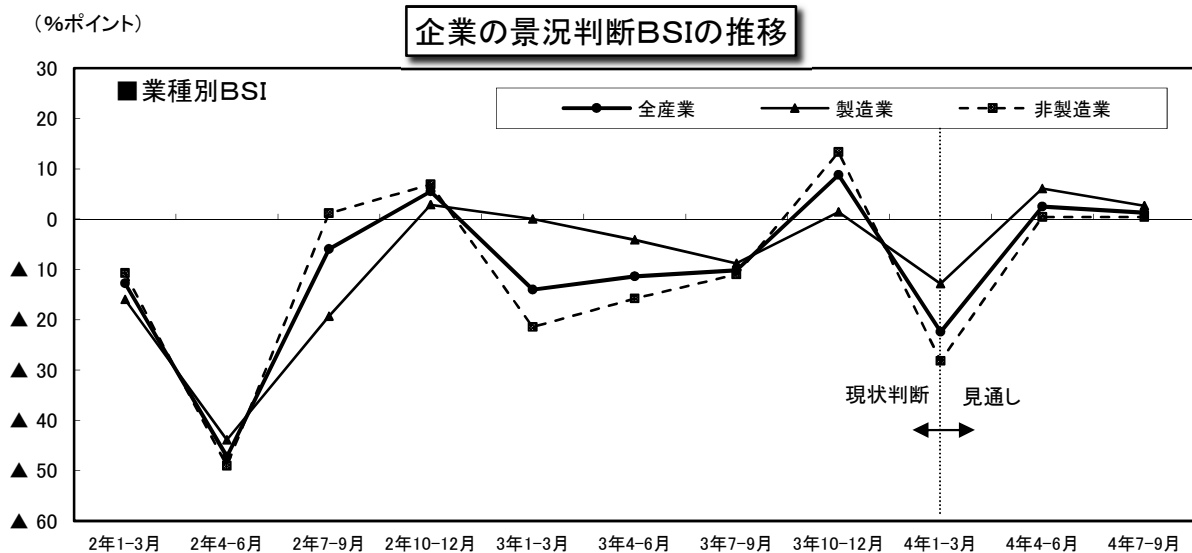
業種別にみると、

製造業では、「食料品」が「下降」超に転じたことや「はん用機械」が「下降」超となったことなどから、「下降」超に転じている。

非製造業では、「運輸」や「宿泊、飲食サービス」等が「下降」超に転じたことなどから、「下降」超に転じている。

また、規模別にみると、大企業、中堅企業、中小企業のいずれも「下降」超に転じている。

先行きについて全産業でみると、4～6月期は「上昇」超に転じ、7～9月期は「上昇」超幅が縮小する見通しとなっている。



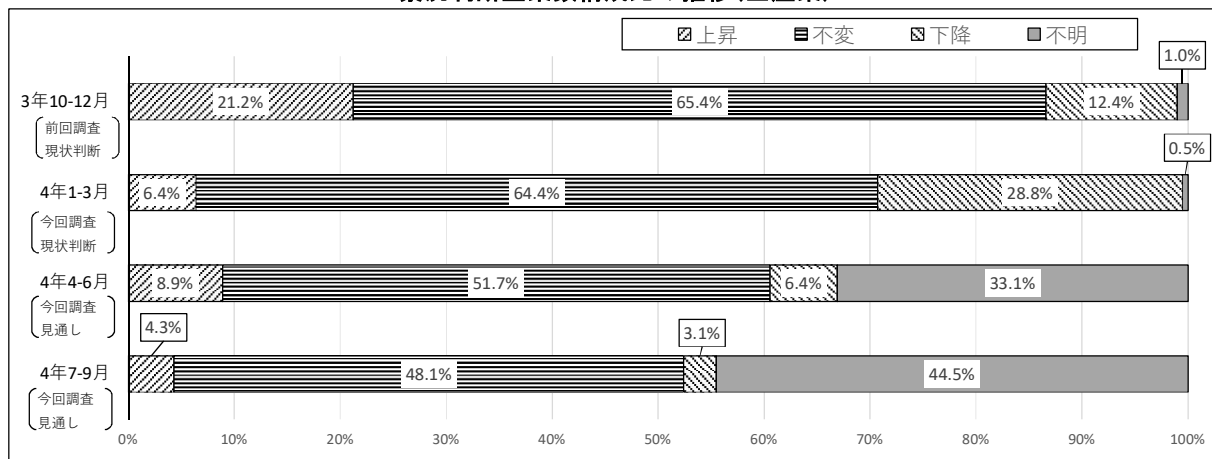
企業の景況判断BSI(前期比「上昇」-「下降」社数構成比・原数値)

(単位: %ポイント)

	3年10~12月期 前回調査	4年1~3月期 現状判断	4年4~6月期 見通し	4年7~9月期 見通し
全産業	8.8	(▲1.3) ▲ 22.4	(0.5) 2.5	1.3
製造業	1.4	(▲2.0) ▲ 12.8	(1.4) 6.1	2.7
食料品	37.5	▲ 46.7	20.0	20.0
繊維	▲ 16.7	0.0	0.0	▲ 16.7
木材・木製品	0.0	▲ 12.5	▲ 37.5	▲ 12.5
パルプ・紙	▲ 7.1	▲ 14.3	14.3	7.1
化学	▲ 18.8	▲ 12.5	6.3	0.0
窯業・土石	0.0	▲ 16.7	▲ 33.3	▲ 16.7
鉄鋼	0.0	▲ 14.3	14.3	14.3
非鉄金属	66.7	0.0	33.3	0.0
金属製品	14.3	▲ 14.3	28.6	0.0
はん用機械	0.0	▲ 37.5	12.5	0.0
生産用機械	0.0	26.7	6.7	0.0
業務用機械	0.0	0.0	0.0	0.0
電気機械	0.0	▲ 9.1	18.2	9.1
情報通信機械	▲ 33.3	0.0	33.3	0.0
自動車・同付属品	※	※	※	※
その他の輸送用機械	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 16.7	0.0
その他製造	0.0	▲ 16.7	8.3	8.3
非製造業	13.3	(▲0.8) ▲ 28.2	(0.0) 0.4	0.4
農林水産業	0.0	▲ 8.3	▲ 16.7	▲ 8.3
鉱業	25.0	0.0	▲ 25.0	0.0
建設	0.0	▲ 3.1	▲ 9.4	0.0
電気・ガス・水道業	0.0	0.0	0.0	0.0
情報通信	7.7	0.0	7.7	0.0
運輸	36.0	▲ 62.5	8.3	▲ 4.2
卸売	8.3	▲ 36.0	▲ 8.0	▲ 4.0
小売	21.4	▲ 31.0	3.4	3.4
不動産	▲ 3.8	▲ 8.0	4.0	4.0
物品賃貸	40.0	▲ 25.0	0.0	0.0
宿泊、飲食サービス	90.9	▲ 100.0	18.2	18.2
生活関連サービス・娯楽	30.8	▲ 50.0	▲ 8.3	▲ 8.3
学術研究、専門・技術サービス	▲ 11.1	▲ 22.2	▲ 11.1	0.0
医療、教育	40.0	▲ 25.0	25.0	25.0
その他のサービス	0.0	▲ 40.0	0.0	▲ 10.0
金融業、保険業	▲ 7.4	▲ 25.9	11.1	3.7
大企業	3.9	(▲3.9) ▲ 20.3	(2.6) 5.4	1.4
中堅企業	8.0	(▲4.0) ▲ 22.8	(▲1.0) 4.0	1.0
中小企業	10.9	(0.9) ▲ 22.9	(0.5) 0.9	1.4

(注) ()書は前回調査時見通し、回答企業数が2社以下の業種は「※」

景況判断企業数構成比の推移(全産業)



(注) 端数処理のため、合計が100%とならない場合がある

2. 従業員数判断 — 現状3月末は「不足気味」超幅が縮小、
先行き6月末も「不足気味」超幅が縮小し、
9月末は横ばいで推移する見通し —

現状3月末は、全産業で21.1%ポイントと「不足気味」超幅が縮小している。

業種別にみると、製造業で「不足気味」超幅が拡大し、非製造業で「不足気味」超幅が縮小している。

また、規模別にみると、大企業、中小企業で「不足気味」超幅が縮小し、中堅企業で「不足気味」超幅が拡大している。

先行きについて全産業でみると、6月末は「不足気味」超幅が縮小し、9月末は横ばいで推移する見通しとなっている。

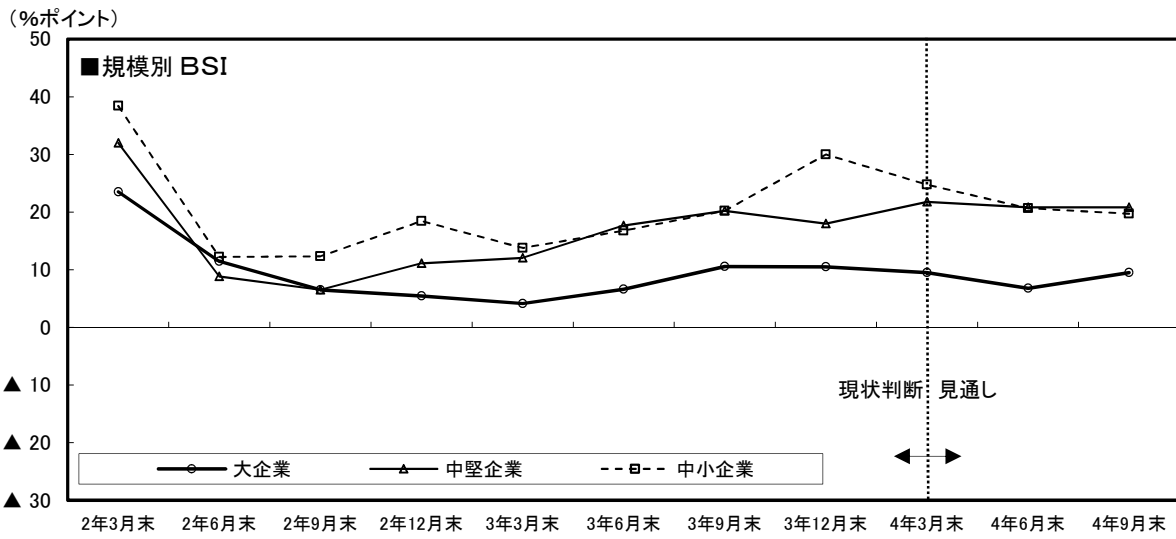
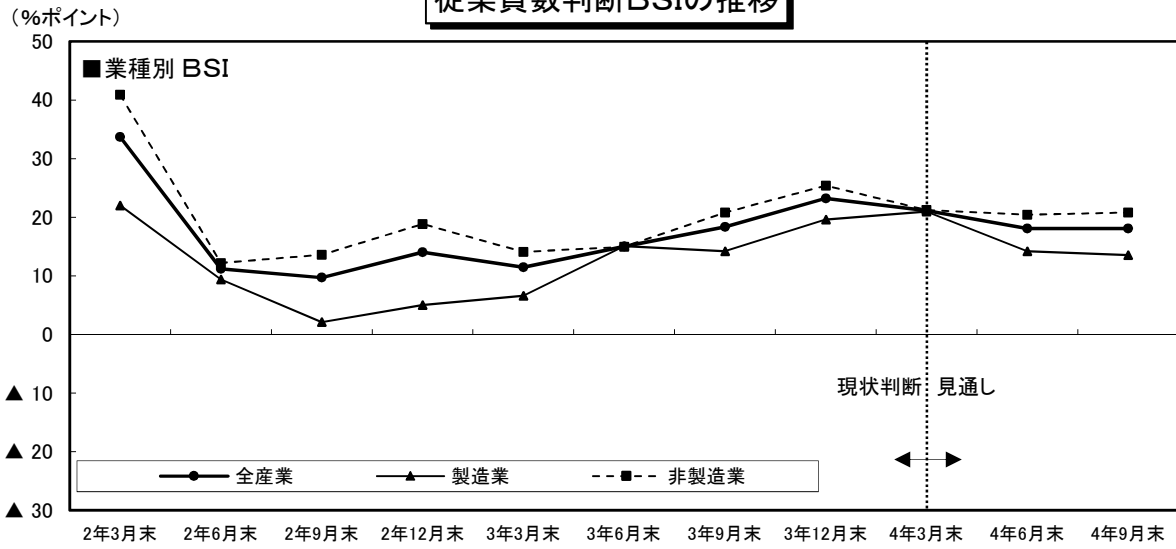
従業員数判断BSI(期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比・原数値)

(単位:%ポイント)

区 分		3年12月末 前回調査	4年3月末 現状判断	4年6月末 見通し	4年9月末 見通し
全 産 業		23.2	(19.4) 21.1	(16.2) 18.1	18.1
業 種 別	製 造 業	19.6	(11.5) 20.9	(9.5) 14.2	13.5
	非 製 造 業	25.4	(24.2) 21.2	(20.2) 20.4	20.8
規 模 別	大 企 業	10.5	(11.8) 9.5	(9.2) 6.8	9.5
	中 堅 企 業	18.0	(18.0) 21.8	(14.0) 20.8	20.8
	中 小 企 業	30.0	(22.7) 24.8	(19.5) 20.6	19.7

(注)()書は前回調査時見通し

従業員数判断BSIの推移



3. 売上高・経常利益 — 3年度は増収・増益見込み

4年度は増収・減益見通し —

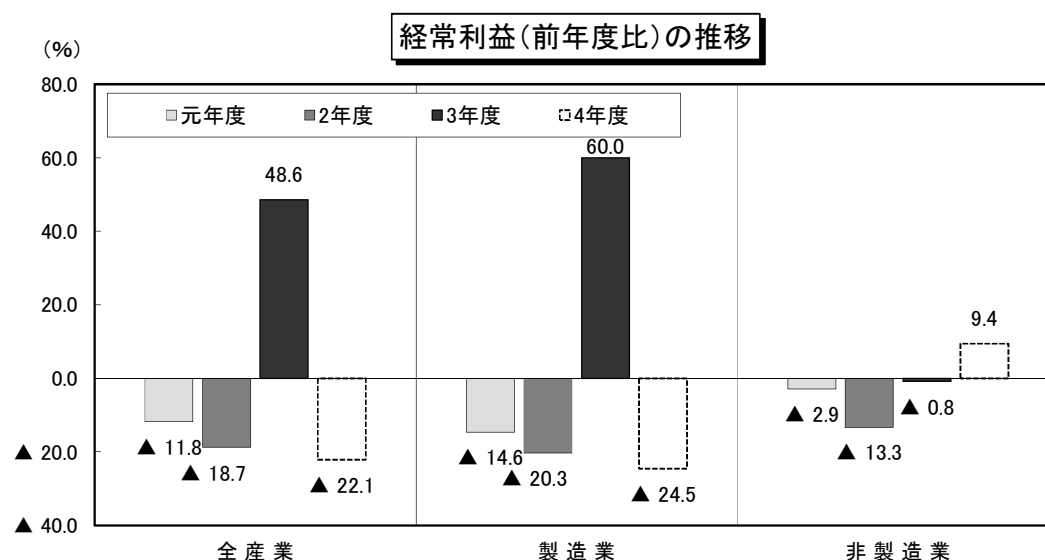
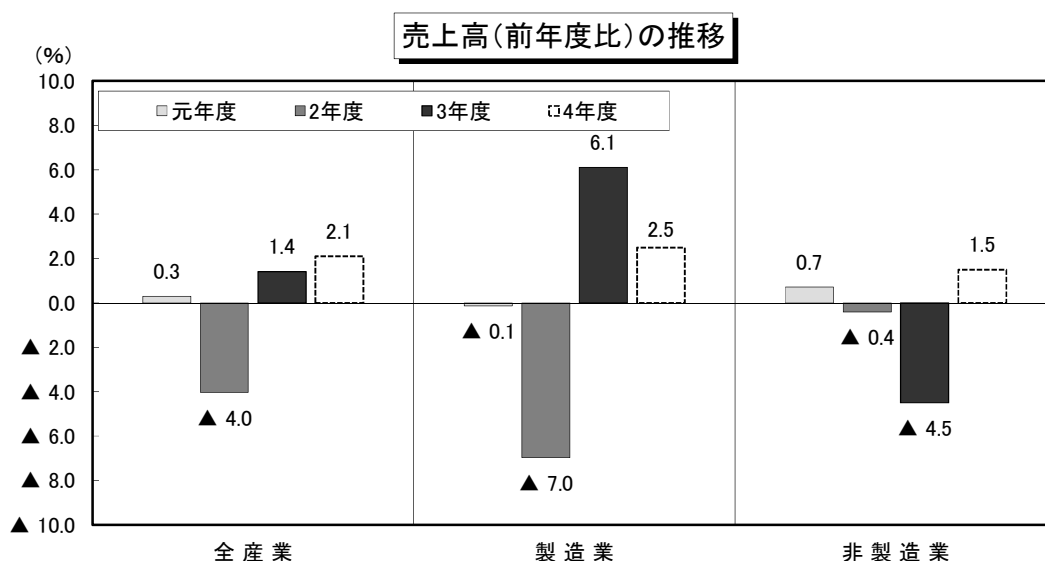
(「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」を除く管内に本社が所在する企業)

3年度の「売上高」は、全産業で1.4%の増収見込みとなっている。
これを業種別にみると、製造業で6.1%の増収見込み、非製造業で4.5%の減収見込みとなっている。

4年度の「売上高」は、全産業で2.1%の増収見通しとなっている。

3年度の「経常利益」は、全産業で48.6%の増益見込みとなっている。
これを業種別にみると、製造業で60.0%の増益見込み、非製造業で0.8%の減益見込みとなっている。

4年度の「経常利益」は、全産業で22.1%の減益見通しとなっている。



(注)元年度は2年1~3月期調査、2年度は3年1~3月期調査の結果

業種別（前年度比増減率）

（単位：％）

区 分		売 上 高		経 常 利 益	
		3 年 度	4 年 度	3 年 度	4 年 度
全 産 業		1.4	2.1	48.6	▲ 22.1
業 種 別	製 造 業	6.1	2.5	60.0	▲ 24.5
	食 料 品	0.3	1.4	11.2	0.2
	パ ル プ ・ 紙	4.2	▲ 1.2	55.2	▲ 20.7
	化 学	2.4	0.8	▲ 3.2	▲ 11.3
	生 産 用 機 械	10.5	4.8	86.4	▲ 43.2
	電 気 機 械	3.0	▲ 4.2	21.3	8.2
	情 報 通 信 機 械	9.8	15.3	110.4	▲ 38.2
	そ の 他 の 輸 送 用 機 械	▲ 4.2	▲ 5.9	赤字縮小	赤字拡大
	そ の 他 製 造	10.6	▲ 13.4	39.9	▲ 3.1
	非 製 造 業	▲ 4.5	1.5	▲ 0.8	9.4
	建 設	2.4	1.7	5.1	6.5
	情 報 通 信	0.3	2.3	13.0	▲ 20.0
	運 輸	12.7	5.4	赤字縮小	赤字縮小
	卸 売	▲ 12.3	0.6	13.1	▲ 2.4
	小 売	0.3	1.7	▲ 16.8	17.7
	不 動 産	2.3	0.2	▲ 24.5	▲ 1.4
宿泊、飲食サービス	12.6	40.8	赤字縮小	黒字転化	

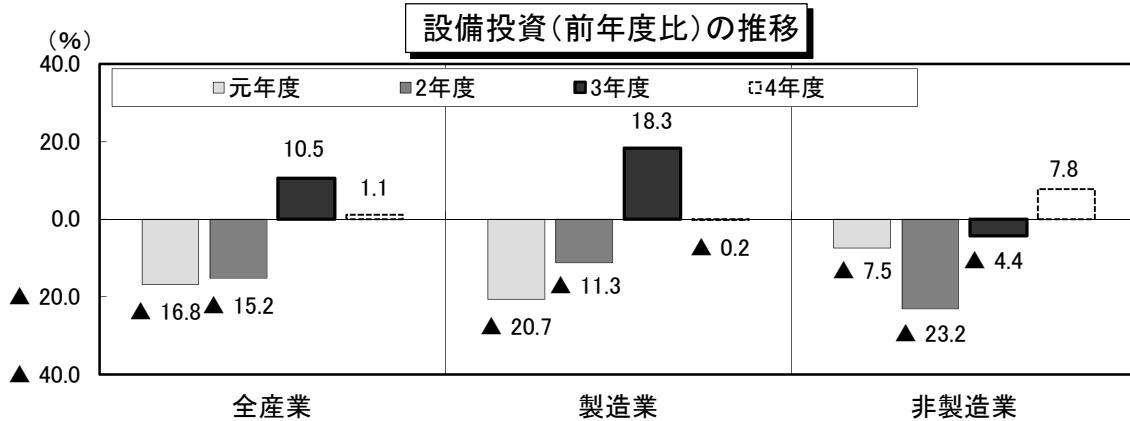
（注）「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」を除く管内に本社が所在する企業

4. 設備投資 — 3年度は増加見込み、4年度も増加見通し — (ソフトウェア含む、土地除く)

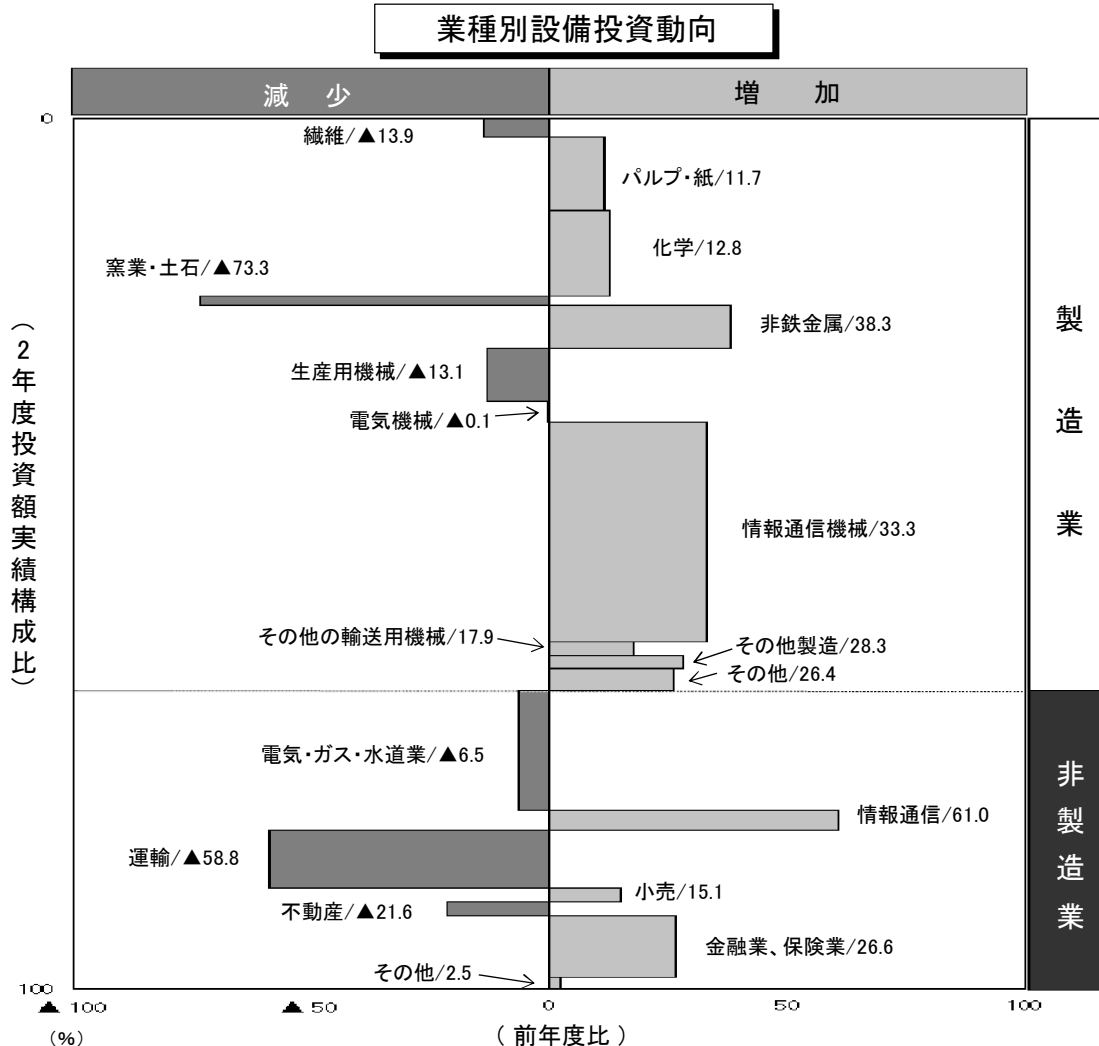
3年度は、全産業で10.5%の増加見込みとなっている。

これを業種別にみると、製造業で18.3%の増加見込み、非製造業で4.4%の減少見込みとなっている。

4年度は、全産業で1.1%の増加見通しとなっている。



(注) 元年度は2年1~3月期調査、2年度は3年1~3月期調査の結果



資料編

I. 今年度における設備投資計画(方針)と実績見込みとのかい離の理由

(回答社数構成比、単位：%)

	全産業				製造業				非製造業			
	全規模	大企業	中堅企業	中小企業	全規模	大企業	中堅企業	中小企業	全規模	大企業	中堅企業	中小企業
景気や業況の見通しの変化	38.6	26.5	34.2	46.4	34.2	25.0	36.1	37.7	41.4	27.5	32.6	51.0
設備投資にかかるコストの変化	24.5	19.1	19.0	29.8	20.5	17.9	22.2	20.8	27.1	20.0	16.3	34.7
経営課題や経営方針の変化	18.1	16.2	10.1	23.2	16.2	17.9	11.1	18.9	19.3	15.0	9.3	25.5
資金繰りなどの資金調達環境の変化	10.4	0.0	10.1	15.2	9.4	0.0	8.3	15.1	11.0	0.0	11.6	15.3
災害などの突発的な事象の発生	5.7	2.9	3.8	7.9	5.1	7.1	2.8	5.7	6.1	0.0	4.7	9.2
受託先等の事情による工期又は納期の変更	13.4	16.2	17.7	9.9	16.2	17.9	22.2	11.3	11.6	15.0	14.0	9.2
設備投資以外の投資との資金配分の変更	2.7	2.9	0.0	4.0	3.4	3.6	0.0	5.7	2.2	2.5	0.0	3.1
当初の計画(方針)を厳しめ又は余裕を持って策定	17.8	26.5	22.8	11.3	17.9	21.4	16.7	17.0	17.7	30.0	27.9	8.2
当初の計画(方針)どおりのため、特に理由なし	44.0	45.6	45.6	42.4	42.7	46.4	36.1	45.3	44.8	45.0	53.5	40.8
その他	0.7	1.5	1.3	0.0	1.7	3.6	2.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(注1)10項目中、1社3項目以内の複数回答による回答社数構成比を記載している。

(注2)「全規模」欄については、回答社数構成比の高かった上位3項目を網掛けで記載している。

Ⅱ. 今年度における利益配分のスタンス

(回答社数構成比、単位：%)

	全産業				製造業				非製造業			
	全規模	大企業	中堅企業	中小企業	全規模	大企業	中堅企業	中小企業	全規模	大企業	中堅企業	中小企業
設備投資	61.6	73.8	64.1	55.2	68.8	73.9	67.6	67.3	57.3	73.8	61.4	48.5
新製(商)品・新技術等の研究・開発	19.2	18.5	15.4	21.4	33.9	52.2	23.5	32.7	10.3	0.0	9.1	15.2
関連会社への出資、M&A	3.7	4.6	3.8	3.2	3.6	8.7	2.9	1.8	3.8	2.4	4.5	4.0
有利子負債削減	20.2	15.4	19.2	22.7	17.9	13.0	14.7	21.8	21.6	16.7	22.7	23.2
新規雇用の拡大	15.2	1.5	15.4	20.8	11.6	4.3	14.7	12.7	17.3	0.0	15.9	25.3
従業員への還元	48.8	36.9	39.7	58.4	50.0	43.5	44.1	56.4	48.1	33.3	36.4	59.6
役員報酬・賞与	6.7	0.0	10.3	7.8	4.5	0.0	8.8	3.6	8.1	0.0	11.4	10.1
株主への還元	24.2	46.2	30.8	11.7	23.2	39.1	32.4	10.9	24.9	50.0	29.5	12.1
内部留保	57.9	56.9	56.4	59.1	52.7	39.1	52.9	58.2	61.1	66.7	59.1	59.6
その他	0.7	1.5	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.4	0.0	1.0

(注1)10項目中、1社3項目以内の複数回答による回答社数構成比を記載している。

(注2)「全規模」欄については、回答社数構成比の高かった上位3項目を網掛けで記載している。

Ⅲ. 判断調査項目BSI・計数項目

1. 判断調査項目BSI(原数値)

(単位: %ポイント)

項目別 規模別	業種別 期間別	全 産 業			製 造 業			非 製 造 業		
		4年			4年			4年		
		1~3月	4~6月	7~9月	1~3月	4~6月	7~9月	1~3月	4~6月	7~9月
① 企業の景況 「上昇」-「下降」	全規模	▲22.4	2.5	1.3	▲12.8	6.1	2.7	▲28.2	0.4	0.4
	大企業	▲20.3	5.4	1.4	▲16.7	3.3	▲3.3	▲22.7	6.8	4.5
	中堅企業	▲22.8	4.0	1.0	▲11.6	9.3	2.3	▲31.0	0.0	0.0
	中小企業	▲22.9	0.9	1.4	▲12.0	5.3	5.3	▲28.7	▲1.4	▲0.7
② 国内の景況 「上昇」-「下降」	全規模	▲36.2	▲2.3	7.0	▲24.6	3.0	8.2	▲43.5	▲5.7	6.2
	大企業	▲27.4	2.7	9.6	▲13.3	10.0	3.3	▲37.2	▲2.3	14.0
	中堅企業	▲40.4	0.0	6.7	▲29.3	0.0	4.9	▲50.0	0.0	8.3
	中小企業	▲37.6	▲5.5	6.1	▲27.0	1.6	12.7	▲43.2	▲9.3	2.5
③※ 生産・販売などのための設備 「不足」-「過大」	全規模	2.3	3.8	4.7	▲0.8	2.3	3.8	4.3	4.7	5.2
	大企業	▲5.7	0.0	1.4	▲10.3	0.0	0.0	▲2.4	0.0	2.4
	中堅企業	▲2.2	1.1	4.5	▲2.4	0.0	7.3	▲2.1	2.1	2.1
	中小企業	7.6	6.5	5.9	4.8	4.8	3.2	9.0	7.4	7.4
④※ 従業員数 「不足気味」 -「過剰気味」	全規模	21.1	18.1	18.1	20.9	14.2	13.5	21.2	20.4	20.8
	大企業	9.5	6.8	9.5	13.3	6.7	6.7	6.8	6.8	11.4
	中堅企業	21.8	20.8	20.8	27.9	23.3	25.6	17.2	19.0	17.2
	中小企業	24.8	20.6	19.7	20.0	12.0	9.3	27.3	25.2	25.2

(注)※は期末判断項目

2. 計数項目(前年度比増減率)

(単位: %)

区 分		売上高 (注1)		経常利益 (注1)		設備投資 (注2)	
		3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度
全産業		1.4	2.1	48.6	▲22.1	10.5	1.1
業種別	製造業	6.1	2.5	60.0	▲24.5	18.3	▲0.2
	非製造業	▲4.5	1.5	▲0.8	9.4	▲4.4	7.8
規模別	大企業	5.8	2.9	75.4	▲28.7	17.2	▲3.9
	中堅企業	▲4.5	1.4	▲3.1	4.6	▲6.7	19.4
	中小企業	2.5	1.4	2.3	▲8.6	▲17.6	6.8

(注1)「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」を除く管内に本社が所在する企業

(注2)ソフトウェア含む、土地除く

IV. 参考資料

香川県の概要(4年1~3月期調査)

回答企業数108社(製造業34社、非製造業74社)、回収率94.7%

1. 企業の景況判断BSI(前期比「上昇」-「下降」社数構成比・原数値) (単位:%ポイント)

区 分		3年10~12月 前回調査	4年1~3月 現状判断	4年4~6月 見通し	4年7~9月 見通し
全 産 業		4.5	(▲10.9) ▲ 28.7	(0.0) 0.9	0.0
業 種 別	製 造 業	2.9	(▲29.4) ▲ 26.5	(▲ 2.9) 2.9	5.9
	非 製 造 業	5.3	(▲ 2.6) ▲ 29.7	(1.3) 0.0	▲ 2.7

(注)()書は前回調査時見通し

2. 従業員数判断BSI(期末判断「不足気味」-「過剰気味」社数構成比・原数値) (単位:%ポイント)

区 分		3年12月末 前回調査	4年3月末 現状判断	4年6月末 見通し	4年9月末 見通し
全 産 業		20.0	(11.8) 14.8	(11.8) 12.0	11.1
業 種 別	製 造 業	26.5	(0.0) 17.6	(2.9) 8.8	8.8
	非 製 造 業	17.1	(17.1) 13.5	(15.8) 13.5	12.2

(注)()書は前回調査時見通し

3. 計数項目(前年度比増減率) (単位:%)

区 分		売上高 (注1)		経常利益 (注1)		設備投資 (注2)	
		3年度	4年度	3年度	4年度	3年度	4年度
全 産 業		3.5	0.5	24.0	▲ 13.0	▲ 2.5	1.4
業 種 別	製 造 業	7.4	▲ 0.4	37.7	▲ 19.0	1.8	4.6
	非 製 造 業	▲ 1.0	2.9	1.1	36.9	▲ 4.5	▲ 9.6

(注1)「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」を除く県内に本社が所在する企業

(注2)ソフトウェア含む、土地除く

■本調査へのお問い合わせは

電話番号 087-811-7780
財務広報相談室（内線260）又は
経済調査課（内線250）へ

ファックス 087-823-2077

ホームページアドレス
<http://shikoku.mof.go.jp/>

